

支援先

県内製造企業等

【目的】

昨今の製造業では、中小企業においても、3次元CADデータを活用した付加価値の高いものづくりが求められています。そこで、当センターでは「デジタルものづくり研究会」を組織し、高付加価値ものづくりのための人材育成や、手仕事の技術を継承する支援を行っています。

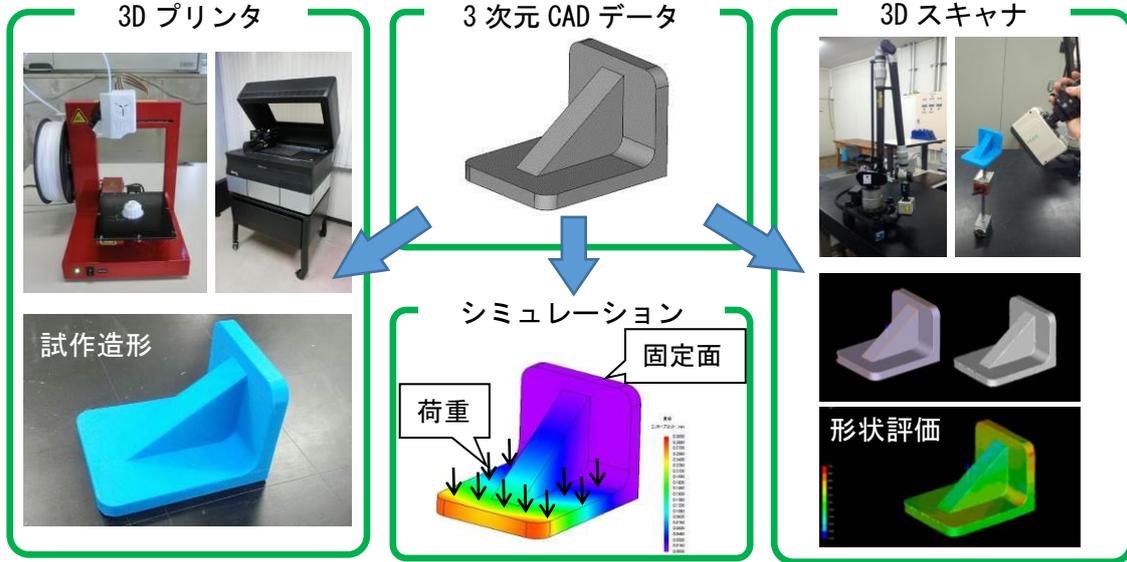


図1 デジタルデータの活用例

【内容】

10月 デジタル生産準備ツール 3DCAD・CAM・CAE活用セミナー 参加者：6社10名

○講演「VPSご紹介～見える化による製品開発のQCD向上の取り組み～」, 「VPS体験実習」

講師：デジタルプロセス株式会社 VPSビジネス部 鹿田 聖子氏

○講演「次世代クラウド型3DCAD・CAM・CAEソフト Fusion 360の紹介」

体験セミナー「Fusion360を使用した構造解析の体験実習」

講師：株式会社オートデスク技術営業本部 関屋 多門氏

11月 フリー構造解析ツール「PrePoMax」ではじめる実践構造解析 参加者：2社3名

○3DCADで作成したデータの活用方法の1つとしての、無料の構造解析ツール「PrePoMax」の一連の使い方、機能に関するセミナー

講師：岐阜工業高等専門学校 建築学科 教授 柴田 良一氏



図2 講演の様子

【結果】

各セミナーをとおして、設備コストが低く、高機能な3DCAD・CAM・CAEソフトを紹介し、中小企業における3DCADデータを使用したものづくりシステムの導入に貢献しています。

基礎となった事業

平成30年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

技術融合部門

部 門 長 青木 邦知
主 任 中川 裕光
主 任 岡田 真
技 師 前島 崇宏

TEL:029-293-7482